

「来年1月までの入場料損失 6,900 億円 ライブ・エンタテインメント業界の窮状深刻」

新型コロナウイルスにより、音楽・演劇の公演やプロスポーツの試合が中止延期となったことによる入場料金損失額はライブ・エンタテインメント業界全体で5月末時点 1,945 億円、8月以降、徐々に事態の回復が見込まれるとしても来年1月までに 6,900 億円に上ることが、チケット・出版事業会社「ぴあ」の調査で明らかになった。5月29日、日本記者クラブで記者会見した矢内廣ぴあ社長は、「ライブ・エンタテインメント業界は観客の移動や会場での飲食・グッズ購入費などを含めるとチケット（入場）料金の10倍の経済効果があるという試算もある。日本の基幹産業の一つと考えてほしい」と、政府のさらなる支援を訴えた。



ビデオ会議システムを利用した記者会見でライブ・エンタテインメント業界に対する新型コロナウイルスの影響について語る矢内廣ぴあ社長

ぴあの調査の対象となったライブ・エンタテインメントとは、日本国内で開催され、入場料が必要な音楽コンサート・演劇・ミュージカル・スポーツ・その他のイベント。映画は含まれない。2月26日に政府の新型コロナウイルス感染症対策本部（本部長・安倍晋三首相）が出したイベント等の開催自粛要請を受けて、公演や試合の中止延期という対応をとり続けている。調査結果によると、5月末の時点ですでにチケットの売り上げがゼロないし減少した公演・試合の総数は19万8,000。入場できなかった観客の延べ総数は1億2,100万人、総入場料金は3,615億円に上る。

入場料を取れる公演・試合が7月から少しずつ増え、予定された開催数が来年1月には通常の78%まで回復すると仮定して今後の見通しも示されている。今年6月～

来年1月までに見込まれる入場者延べ総数は、通常の年に比べ1億800万人の減で、入場料金の減少総額は3,200億円。結局、今年2月から来年1月までに公演・試合が中止延期されたことにより入場できなかった観客延べ総数は2億2,900万人で入場料金の減少額は6,900億円と見込まれる。通常なら年間の入場料金総額は9,000億円なので、77%の減少となる。6,900億円のジャンル別内訳は、音楽系3,300億円、演劇・ステージ系1,600億円、スポーツ系1,300億円、イベント系その他700億円となっている。

新型コロナウイルスによるライブ・エンタテインメント業界へのダメージについて

(令和2年5月末現在/びあ総研調べ)

		すでに発生した 【精査値※①】 (2月～3月)	すでに発生した 【確定値】 (4月～5月)	今後追加で 見込まれる 【推計値※②】 (6月～来年1月)	合計 【推計値】 (2月～来年1月の1年間)
5/29公表 (日本記者クラブ 会見時点)	①中止延期等により売上がゼロもしくは 減少した公演・試合の総数	8万5,000本	11万3,000本	23万4,000本	43万2,000本
	②入場できなくなった観客総数(延べ)	5,600万人	6,500万人	1億800万人	2億2,900万人
	③中止延期等により売上がゼロもしくは 減少した公演・試合の入場料金の総額	1,670億円	1,945億円	3,200億円	6,900億円
	年間市場規模9,000億円に対する消失割合	19%	22%	36%	累計 77%

(矢内廣びあ社長記者会見資料から)

ただし、7月に8%、8月に33%、9月に46%と毎月、公演・試合開催数の回復率が増え続け、来年1月には通常の78%になるという予測は、新型コロナウイルスの感染拡大の第2波、第3波の到来を見越していない。もし、来年1月までに再び感染拡大が起きると、この入場料金損失予測はこの額で済まなくなることを矢内氏も認めている。

5月27日に閣議決定された新型コロナウイルスへの対策に向けた第二次補正予算案には、文化芸術・スポーツ活動の継続支援と文化芸術収益力強化事業として560億円が盛り込まれている。音楽・演劇・ダンス・芸能等の公演を中止延期した主催者が2021年2月までに公演を実施し、そのダイジェスト映像などを海外に発信した場合、公演制作費用・海外配信費用などを半額補助(1ステージ5,000万円を上限)する「コンテンツグローバル需要創出促進補助金」という支援制度もある。

こうした政府の支援策について一定の評価をした上で矢内氏は「6,900億円に比べるといかにも小さい。ライブ・エンタテインメント業界が通常の状態に戻るまでには来年いっぱいにかかるだろう。政府は1年先を見据えた支援をぜひ考えてほしい」と訴えた。

ライブ・エンタテインメント業界では、それぞれ関連団体も危機感を強め、さまざまな動きを始めている。主な劇場や劇団、芸能事務所、配給会社など 40 を超える参加団体が「緊急事態舞台芸術ネットワーク」を立ち上げたのもその一つ。同ネットワークが 5 月 14 日に公表した「演劇界における緊急アンケート調査結果報告」でも舞台芸術界の厳しい状況が分かる。中止・延期はあまりに膨大な数の公演と団体に及ぶため、このアンケートは 4 月 10 日以前に中止・延期を決定した 5 月末までの公演で、数万から数十万動員規模が想定される演劇・イベント主催団体に対象を限っている。



(緊急事態舞台芸術ネットワーク「演劇界における緊急アンケート調査結果報告」から)

対象とした 16 社のうち、中止あるいは延期した公演の総入場可能者数が 10 万～30 万人という社は 2 社、5 万～10 万人未満は 1 社、1 万～5 万人未満は 7 社、1 万人未満は 7 社。中止・延期公演の損失額は、30 億円以上が 2 社、10 億～30 億円未満が 3 社、5 億～10 億円未満が 2 社、1 億～5 億円未満が 7 社、1 億円未満が 2 社となっている。損失額はピアの調査と異なり、入場料収入だけでなくその他の経費も含めた実際の損害額を見ているのが特徴だ。6 月以降の中止・延期公演も極めて多いため、今回明らかになった損害額は一部に過ぎない、と調査結果は付記している。

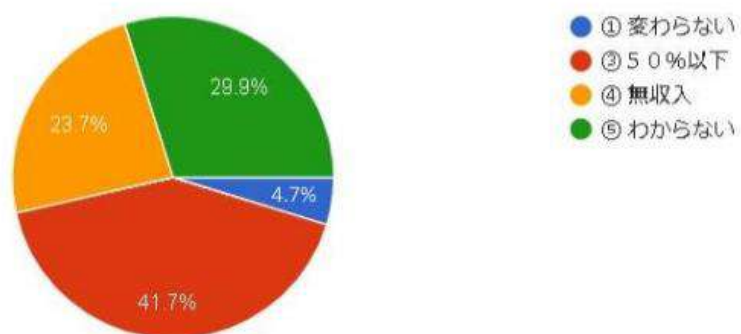
公演・試合の中止延期で苦しい状況に追い込まれているのは企業、団体だけではない。俳優、声優でつくる協同組合日本俳優連合（西田敏行理事長）は、5 月 25 日、西村康則新型コロナウイルス感染症対策担当相、麻生太郎財務相、宮田亮平文化庁長官に対し「劇場、放送局などのスタジオの閉鎖により、年末まで見通しが立たない。ほとんどが個人事業主の芸能実演家は発注事業者との交渉力もなく、キャンセル料すら全額もらえていない人が 96.2%いる。日本が文化大国である矜持として、支援実施の英断をお願いする」という緊急

要請書を提出している。

同連合が5月12～21日に実施したアンケートでは、回答があった俳優・声優422人のうち、5月以降先々の新しい仕事の依頼が全くないという人が57.3%、減っているという人が35.1%いるなど、苦しい状況が明らかにされている。5月以降の収入がない人が23.7%、半分以下になった人が41.7%という結果も示されている。

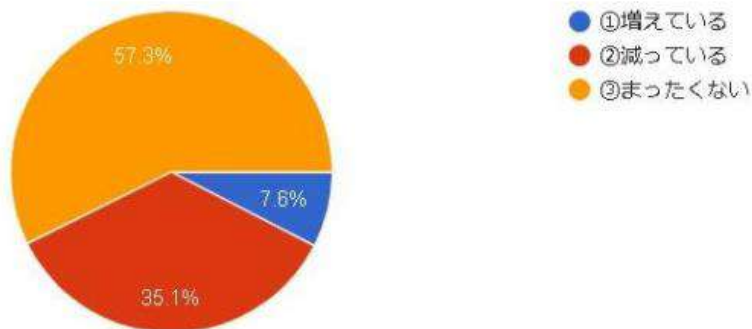
Q8. 5月以降の収入は、どのぐらいになりそうですか？

422件の回答



Q8-2. 5月に入って、先々の新しい仕事の依頼はありますか？

422件の回答



プロスポーツの試合はようやく再開の動きが出てきた。日本プロサッカーリーグ（Jリーグ）は、5月29日「J1リーグを7月4日、J2リーグ、J3リーグを6月27日に無観客試合として開幕する。感染拡大の状況を見て観客を迎える準備を進める」と発表した。同リーグは2月25日、同月28日～3月15日に開催予定の試合延期を決定して以来、それ以降の試合についても次々に延期を決める、という対応をとってきた。

一方、例年なら3月末のプロ野球公式戦開幕を延期していた日本野球機構も5月25日、

オンラインで12球団代表者会議を開催、政府による新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言が全国で解除されたことを受け、6月19日にセ・パ両リーグで公式戦開幕することを決定している。ただし、こちらも当分の間、無観客の開催となる。

日本プロサッカーリーグ（Jリーグ）と日本野球機構は共同で感染症の専門家などから成る「新型コロナウイルス対策連絡会議」を設立し、開幕に向けて必要な準備、対策について助言を求めている。専門家会議が5月22日にまとめた詳細な提言には「新型コロナウイルス感染症として選手、チーム関係者に抗原検査あるいはPCR検査、抗体検査などの実施を検討する必要」や「公式戦を開催するには、1日あたりの感染者の増加数、感染経路が特定できない感染者の実数、感染者1人が何人に感染させたかを測る指標などのデータが安定し、地域の医療事情の改善が認められることが重要」といった助言が盛り込まれている。

日文 小岩井忠道（JST客観日本編集部）

関連サイト

緊急事態舞台芸術ネットワークホームページ

<http://jpasn.net/cn1/2020-05-14-1.html>

同「演劇界における緊急アンケート調査結果報告」

<http://jpasn.net/pressrelease/PR200514.pdf>

協同組合日本俳優連合「『新型コロナウイルス感染症自粛に係る文化芸術緊急要請』のお知らせ」

<https://www.nippairen.com/jaunews/page-2134.html>

日本プロサッカーリーグ「2020 明治安田生命 J1 リーグ・J2 リーグの再開および J3 リーグの開幕日について」

<https://www.jleague.jp/news/article/17111/>

日本野球機構ニュース「2020 年度公式戦開幕について」

http://npb.jp/news/detail/20200525_01.html